



（「足柄・桧山水源林」）

南足柄市は、神奈川県西部に位置し、北は酒匂川を境に山北町、東は開成町、南東から南にかけて小田原市及び箱根町、西は静岡県小山町に接しています。

市内の北西に最高峰の金時山(1,213m)を控え、緑豊かな山岳、丘陵地帯が市街地に接するように存在し、狩川や内川等の酒匂川の支流が数多く流れており、平坦地は足柄平野の一部を占めています。

本市の森林は、市域の約7割を占め、保安林及び自然環境保全地域に指定されています。この中で、「足柄・桧山水源林」は、平成7年8月に林野庁から「全国水源の森百選」に認定されています。

さらに、南足柄の宝である森林利用を盛り上げていくために、平成19年7月に「南足柄市森林ボランティア協議会」を発足しました。

昨年度の活動につきましては、南足柄市広町にある活動フィールド1.7haの森林整備（主に下草刈り）を行うだけでなく、きのこ観察会やきのこホダ木づくり体験等のイベント開催も行いました。

イベントを通じて、参加した子どもたちに緑を肌で感じてもらい、森林教育体験として今後とも活動



を広げていく予定です。



（南足柄市森林ボランティア協議会）

その他、平成22年5月に南足柄市足柄森林公園丸太の森地区及び秦野市秦野戸川公園地区にて、第61回全国植樹祭が開催されました。お手植え会場となった南足柄会場では、天皇皇后両陛下によりケヤキやヤマザクラ、無花粉スギなど6種のお手植えが行われました。



（全国植樹祭南足柄会場）

全国植樹祭を契機に、多くの人が豊かな森と緑を育てることに興味を持ってもらい、この豊かな緑と水に育まれた郷土

の自然を未来へ引き継いでいくため、平成21年から平成24年の間に「南足柄市民植樹祭」を開催いたしました。

その上、神奈川県の「森林再生パートナー」制度に、平成21年4月から神奈川県、アサヒビール株式会社、南足柄市森林組合、南足柄市が参加し、未来につなぐ森づくり（「アサヒビールの森」づくり）を実施しています。今年度の活動の一環として、ヤマザクラ、ヤマボウシ、イロハモミジ50本ずつ計150本を約80名（アサヒビール（株）による一般公募者を含む）で植樹を行いました。植樹作業に一生懸命取り組む子どもたちの姿があり、自然を肌で感じる事ができたと思います。この経験が次世代へ引き継がれ、森林について考える機会が増えることを期待しています。



（「アサヒビールの森」）

（南足柄市環境経済部

産業振興課農林振興班担当）